

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第5週 (ARIのみ第4週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (5 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：A型肝炎 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例、破傷風 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	0～4歳	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	0～4歳	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O55(VT1)
4類	A型肝炎	延岡	30歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、 肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
	破傷風	宮崎市	70歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害
	百日咳	宮崎市	5～9歳	女	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳、呼吸苦
			30歳代	男	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,452 人(定点当たり 61.6)で、前週比 124%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

また、第4週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,840 人(定点当たり 65.7)で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。

【インフルエンザ】

報告数 1,122 人(40.1)で、前週比 136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(47.1)の約 0.9 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

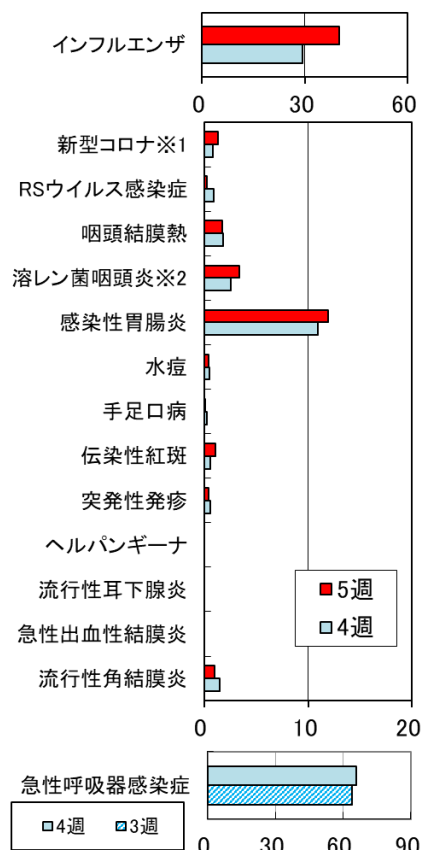
報告数は 179 人(11.9)で、前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約 1.1 倍であった。年齢群別は 2 歳から 3 歳が全体の約 2 割を占めた。

【咽頭結膜熱】

報告数は 26 人(1.7)で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約 2.8 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

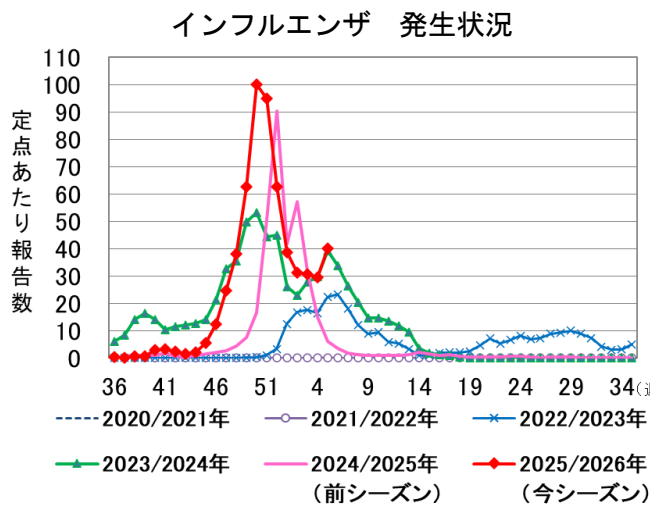
《前週との比較》



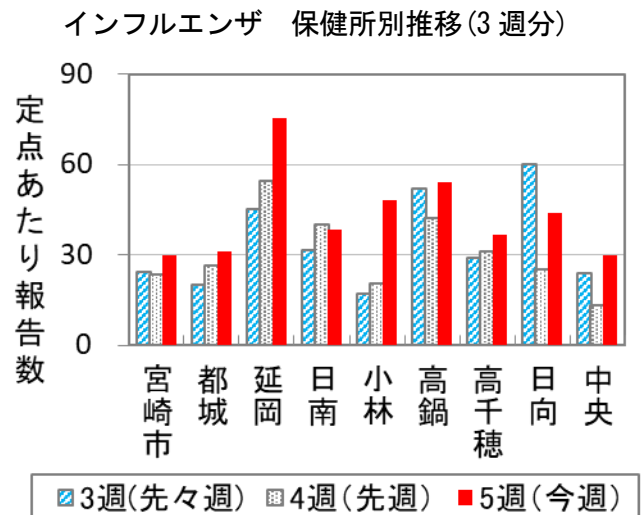
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

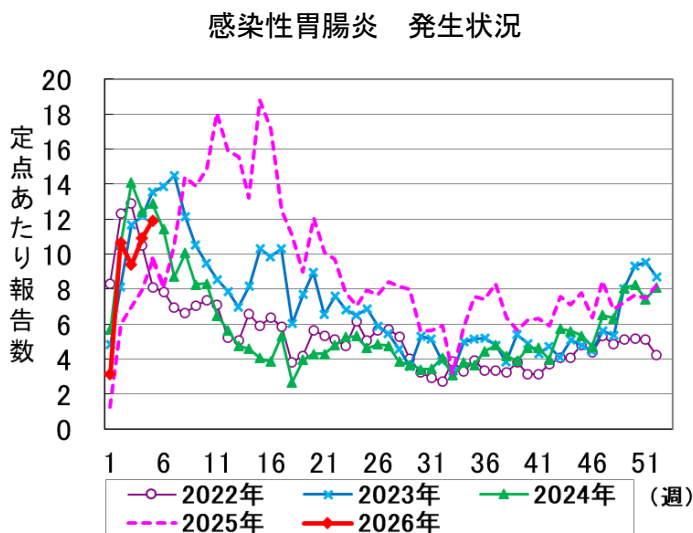
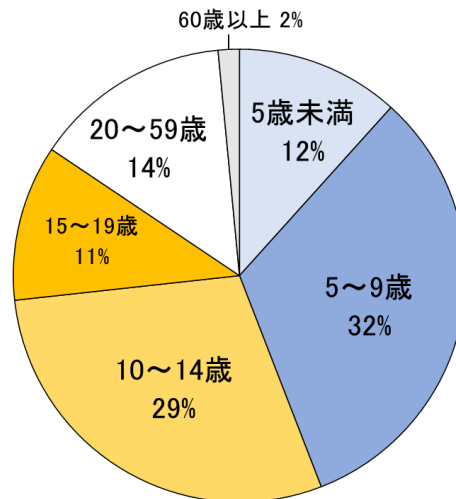
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



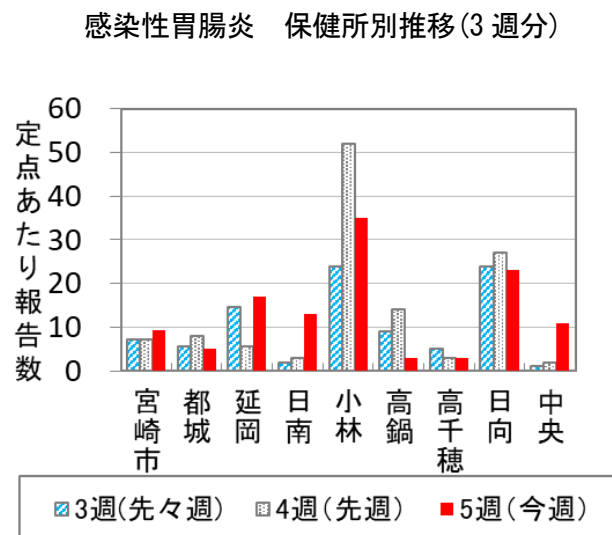
※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更



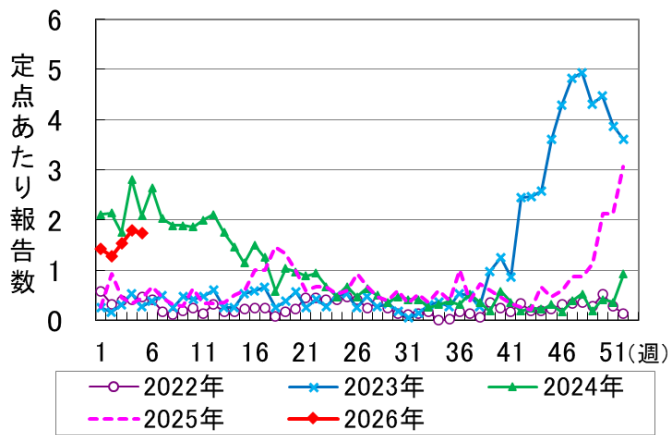
インフルエンザ年齢群別グラフ(第 5 週)



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

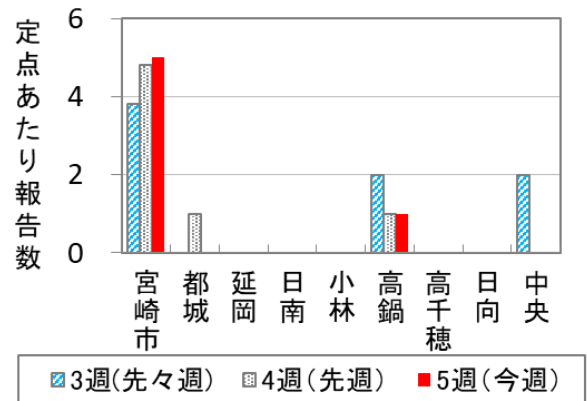


咽頭結膜熱 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、日向保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(29.9)、咽頭結膜熱(5.0)
都城	インフルエンザ(31.3)
延岡	インフルエンザ(75.3)
日南	インフルエンザ(38.5)、水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.0)
小林	インフルエンザ(48.0)、感染性胃腸炎(35.0)、水痘(2.0)
高鍋	インフルエンザ(54.0)、伝染性紅斑(4.0)
高千穂	インフルエンザ(36.5)、伝染性紅斑(3.0)
日向	インフルエンザ(44.0)、感染性胃腸炎(23.0)、伝染性紅斑(6.0)
中央	インフルエンザ(30.0)、水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026 年第 4 週:1 月 19 日～1 月 25 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	1
	B型	ビクトリア系統	5
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			7
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス
検体について、急性呼吸器感染症サーベイ
ランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実
施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、
呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上
の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性
な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来
症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかつ
た検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 2 月 2 日までに検出分)

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.08	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.08	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.01.29
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.17	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Parvovirus B19	5～9歳	男	2025.12.22	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.02.02
Influenza virus B (Victoria Lineage)						2026.02.02
Varicella zoster virus (VZV)	20歳代	女	2026.01.27	水痘、発熱、水疱、丘疹	痂皮	2026.01.28
					全血	2026.01.28
					水疱内液ぬぐい	2026.01.28
Influenza virus A H3※	70歳代	男	2025.12.16	急性気管支炎、38℃	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	30歳代	女	2025.12.16	インフルエンザA、38.7℃、頭痛、 咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	10歳代	男	2025.12.15	インフルエンザA、38.9℃、頭痛、 咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3※	10歳代	男	2025.12.15	インフルエンザA、37.7℃、頭痛、嘔気、 嘔吐、腹痛	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3※	10歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、38.4℃、頭痛、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	20歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、37.6℃、咽頭痛、咳、 痰、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	20歳代	男	2025.12.23	急性気管支炎、37.2℃	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	20歳代	男	2025.12.23	インフルエンザA、38.6℃、頭痛、 咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.30
Influenza virus A H3※	5～9歳	女	2025.12.22	急性気管支炎、38.8℃、咽頭炎、 嘔気、嘔吐	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3※	0～4歳	女	2025.12.22	インフルエンザA、39.2℃、頭痛、 咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.30
Influenza virus A H3※	0～4歳	男	2025.12.22	インフルエンザA、39.0℃、咽頭炎	鼻汁	2026.01.30

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

全国 2026 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	230 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	56 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	3 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	34 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘(入院例)	14 例
	梅毒	161 例	播種性クリプトコックス症	1 例	百日咳	225 例
	麻しん	5 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 135%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は、特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 133%と増加した。

インフルエンザの報告数は 63,326 人(16.6)で前週比 147%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(39.5)の約 0.4 倍であった。鹿児島県(35.2)、宮崎県(29.4)、大分県(28.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,741 人(8.6)で前週比 128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.8)の約 1.3 倍であった。群馬県(17.0)、岐阜県(14.2)、東京都(13.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 739 人(0.32)で前週比 145%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.32)の約 1.0 倍であった。宮崎県(1.8)、長崎県(1.6)、島根県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の
 当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	822	1122	269	125	226	77	96	108	73	88	60
	定点当り	29.36	40.07	29.89	31.25	75.33	38.50	48.00	54.00	36.50	44.00	30.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	24	36	3	10	15	1	1	1	4	1	
	定点当り	0.86	1.29	0.33	2.50	5.00	0.50	0.50	0.50	2.00	0.50	0.00
RSウイルス感染症	報告数	13	3	1	1		1					
	定点当り	0.87	0.20	0.20	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	26	25					1			
	定点当り	1.80	1.73	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	38	50	17	14	5	5	1	3	1	1	3
	定点当り	2.53	3.33	3.40	7.00	2.50	5.00	1.00	3.00	1.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	164	179	47	10	34	13	35	3	3	23	11
	定点当り	10.93	11.93	9.40	5.00	17.00	13.00	35.00	3.00	3.00	23.00	11.00
水 痘	報告数	7	6	1	1		1	2				1
	定点当り	0.47	0.40	0.20	0.50	0.00	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.27	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	8	16	1			2		4	3	6	
	定点当り	0.53	1.07	0.20	0.00	0.00	2.00	0.00	4.00	3.00	6.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	6		1	3	1					1
	定点当り	0.53	0.40	0.00	0.50	1.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	6	4	1	1						
	定点当り	1.50	1.00	1.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1								1	
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第04週(01月19日～01月25日)

		第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1789	1840	445	221	299	110	166	180	106	183	130
	定点当り	63.89	65.71	49.44	55.25	99.67	55.00	83.00	90.00	53.00	91.50	65.00

ARI 定点:28、小児科定点:15(ARI 定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～05週 保健所受理分)

2類感染症	結核	7例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例(1)	つつが虫病		2例	梅毒
5類感染症	クリプトスポリジウム症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症		2例	
	破傷風	1例(1)	百日咳		11例(3)	8例(2)

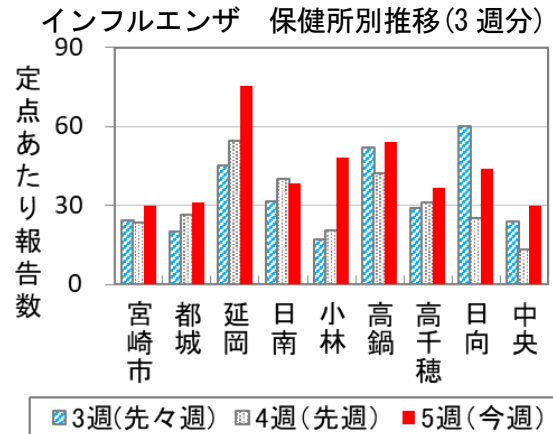
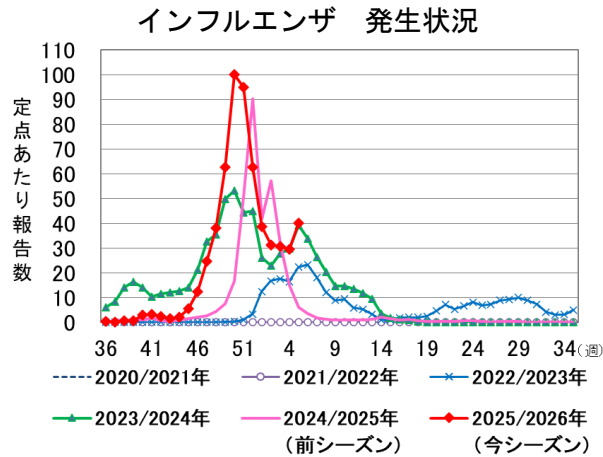
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

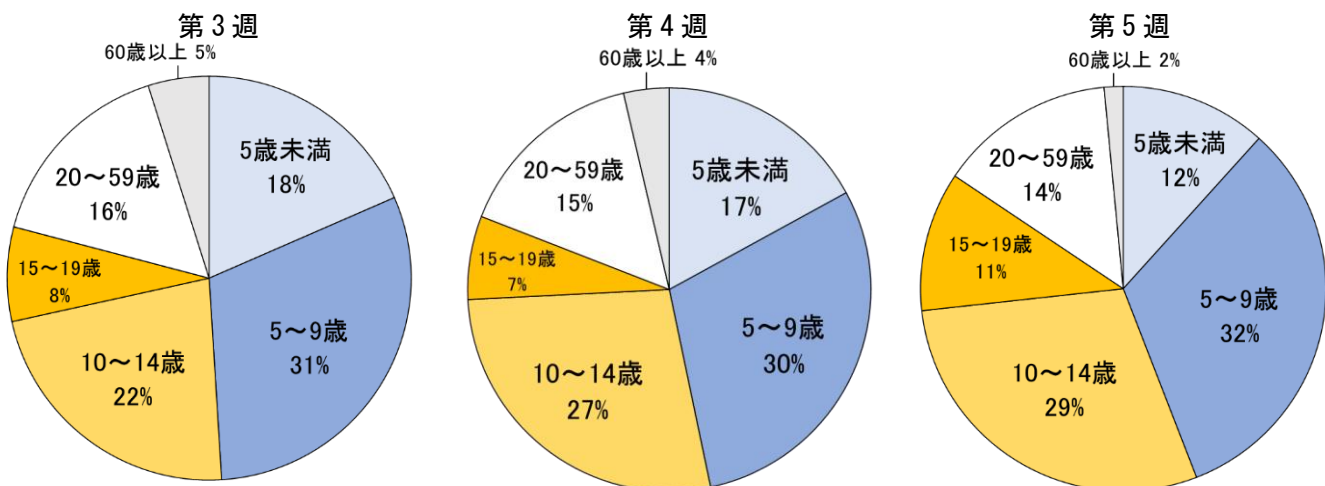
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

1月26日～2月1日までの1週間では1,122人(40.1)の報告があった。前週比136%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(47.1)の約0.9倍であった。

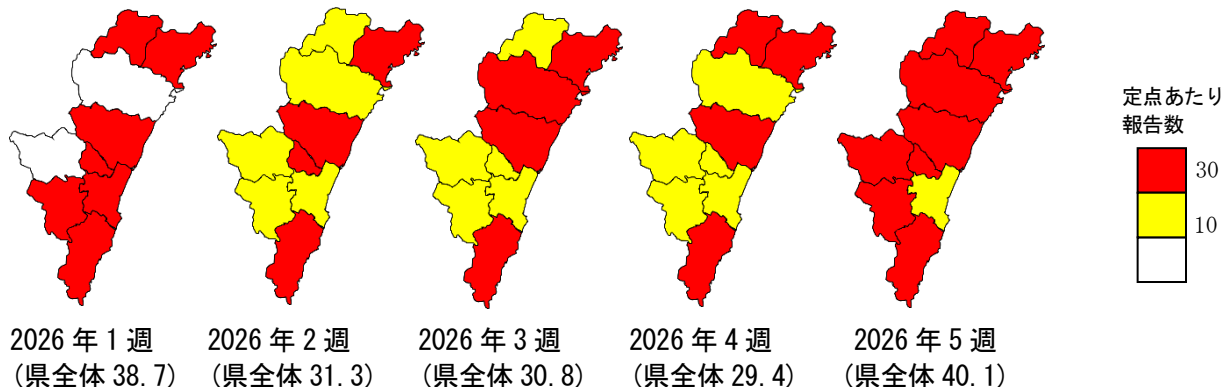
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2026年第1週～2026年第5週



□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

1月19日～1月25日までの1週間では63,326人(16.6)の報告があった。前週比147%と増加した。鹿児島県(35.2)、宮崎県(29.4)、大分県(28.9)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の13%、5～9歳が31%、10～14歳が29%、15～19歳が10%、20～59歳が15%、60歳以上が2%であった。